

授業科目	在宅看護論Ⅱ－2			時間数	30
学 科	在宅看護論	学 年	2 年次	単 位 数	1
担当講師	高山 幸子	取得資格	看護師		
		実務経験	有 ・ 無	経験年数	18
授業内容	在宅看護におけるコミュニケーション 在宅看護技術 在宅で行われている医療処置				
到達目標	1. 在宅看護に必要とされる援助技術を原理・原則をふまえた上で、対象の生活に合わせて工夫することができる。 2. 在宅看護での終末期看護について理解できる。 3. 対象を尊重した訪問時のマナーを身につけることができる。				

授業計画

No	授 業 内 容
1	在宅看護活動におけるコミュニケーション(対象者の支援、信頼の構築)と在宅看護展開のポイント
2	呼吸に関する在宅看護技術
3	食生活・嚥下に関する在宅看護技術
4	排泄に関する在宅看護技術
5	移動・移乗に関する在宅看護技術
6	認知機能に関するアセスメント法と援助技術、シャワー浴介助・爪切り
7	在宅における終末期看護の展開、在宅での洗髪
8	在宅で行われている医療処置、褥瘡
9	在宅で行われている医療処置、尿道留置カテーテル
10	在宅で行われている医療処置、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)
11	在宅で行われている医療処置、経管栄養・胃瘻
12	在宅で行われている医療処置、在宅中心静脈栄養法(HPN)・非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)
13	在宅で行われている医療処置、在宅酸素療法(HOT)
14	在宅で行われている医療処置、在宅人工呼吸療法(HMV)と排痰法
15	在宅で行われている医療処置、疼痛管理

テキスト 参考書等	系統看護学講座在宅看護論 医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験 実技試験 出席認定

